



# 令和3年度 事業別行政経営計画書【B】

所属名	議会事務局	No.	1
事業名	議会運営事業		

## ■基礎情報

目的	議会の円滑な運営を図るため事務の効率化を目指す。	
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本会議、委員会、協議会の会議運営</li> <li>・会議録の作成</li> <li>・常任委員会の視察対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別委員会の事業推進</li> <li>・ホームページによる情報発信</li> </ul>
現在における経過又は課題	<p>会議運営と事務の効率化を目的に、平成30年12月定例会よりタブレットを利用したペーパーレス会議システムを導入したが、タブレットの操作習熟度に個人差があるため、一定の水準まで引き上げられるかが課題である。このため、議員の要望等に応じて事務局職員等による講習会を実施している。</p> <p>令和2年1月臨時会及び9月定例会の本会議でマイクの音声スピーカーから流れないトラブルが発生した。議場の音響設備はマイク等一部設備の更新を過去に行っているものの、制御装置や配線等は庁舎建設時からのものを使用している。今後も機器のトラブルが懸念されるため、全体的な更新を考えなければならない時期になっている。</p> <p>また、第1委員会室の音響設備についても委員会中にマイクのトラブルが発生し、2本が使用不能となった。原因は、過去の設備更新から20年近く経過していることから電子部品の劣化によるものと考えられる。今後、その他のマイクにも同様の症状が発生することが懸念されるため、令和2年度12月定例会に補正予算を計上し、令和3年2月に更新が完了した。なお、従前のマイク設備一式は使用可能なものを第5委員会室にて利用できるようにした。</p> <p>議員の活動が見えないという声もあり、議会活動をより多くの方に知ってもらう手段として、平成26年9月定例会から一般質問の動画配信を始めた。また、令和2年3月定例会より新型コロナウイルス感染対策の一環で傍聴自粛を求めたため、一時的に本会議の全てをライブ中継している。</p> <p>平成29年度に会議録検索システムを導入し、平成24年3月の定例会から、定例会、臨時会、委員会の議事録をホームページ（外部サイト）から閲覧できるようにした。</p> <p>これに伴い、会議録の製本を必要最低限の冊数（正本2冊＋副本5冊）とし、議員等への配布を取りやめた。</p>	
令和3年度の目標又は改善策	<p>引き続きスムーズな議会運営が行えるよう議員のサポート等に努める。</p> <p>議場の音響設備の故障が目立ち始めているため、会議運営や会議録作成に支障をきたさないよう、更新について検討していく。</p> <p>議会の活動が見えないという住民の声に応えるため、その手段を模索していくとともに、議員と住民が直接触れ合える機会を議員と一緒に考えていきたい。</p>	

## ■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第6章	持続可能な地域経営				
	基本政策	第2節	行財政経営				
成果指標	/						
H26 実績値	R1 実績値	R2 計画値	R3 目標値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値

## ■3年間の目標

目標	議会運営を円滑に進める					
	項 目（単位）	R1 実績	R2 計画	R3 目標	R4 目標	R5 目標

## ■2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R4 年度	議場音響設備更新
R5 年度	議員改選の年になるため新たに議員になった方へ議会の基本を学んでもらう

## ■作業工程（当該年度）

月	作 業 内 容
5	臨時会
6	定例会
9	定例会
12	定例会
3	定例会
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、総務建設・文教福祉常任委員会協議会及び全員協議会を開催</li> <li>・ホームページによる情報発信等は随時実施</li> <li>・常任委員会視察は7月から11月までの間で実施予定【コロナ禍のため中止】</li> <li>・10月～11月頃に議会報告会・意見交換会を実施【コロナ禍のため中止】</li> </ul>

## ■事業コスト

		単位	R1 年度決算額	R2 年度当初予算額	R3 年度計画額
事業費		千円	6,839	7,321	6,437
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工	1.5	1.5	1.5
	会計年度 任用職員	人工	0	0	0
	計	人工	1.5	1.5	1.5

## ■令和3年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

## ■令和3年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

## ■目標又は改善策に対する取組内容

議会運営については、議長からの議会運営の質問事項を関係書籍などで調べ、スムーズな議会運営ができるように努めた。

議場の音響設備の老朽化に伴う設備の更新の検討については2千万円前後の費用が掛かるため、財政状況の厳しい折の更新は難しいと判断し取りやめた。なお、マイクの音声小さい席については、マイクの接続部分に接点復活剤をすることで改善することができたため、今後は同様の対応で乗り切りたい。

議会の活動がみえないという住民の声に応えるための手段の模索については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により議会報告会や意見交換会の開催を見送ったことなどにより、住民の声を直接聞く機会を持つことができなかったが、議会だよりに委員会活動の記事を掲載するなど周知に努めた。また、議会中継のカメラの撮影方向を前方からにしたことで会議中の議員の発言状況等を分かりやすくした。

## ■ 評価

議会運営については、概ね適切な対応が取れた。

議場の音響設備の件については、接点復活剤の利用でマイクの状況が改善したことで、マイクの音量問題については一応解決することができた。

議会の活動が見えないという住民の声に応えることについては、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあったとはいえ、その手段を検討する場があまりなかったことは反省しなければならない。また、議会中継のカメラ位置を前方に変えて本会議中の議員の様子が見えるようにしたことは議員の活動の見える化にはつながると思われるが、まだまだ視聴者が少ないのが課題である。

## ■ 特記事項

# 令和3年度 事業別行政経営計画書【B】

所属名	議会事務局	No.	2
事業名	議会広聴広報事業（旧議会広報事業）		

## ■基礎情報

目的	<p>町政に係る重要な情報を議会独自の視点で住民に周知し、多様な広報手段で、より多くの住民が議会と町政に関心を持つように努めることを目的とする。</p>
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議会広報誌「おおぐち議会だより」の編集及び発行</li> <li>・ 議会広報に関する視察対応</li> <li>・ 議会報告会、意見交換会</li> </ul>
現在における経過又は課題	<p>「おおぐち議会だより」は、議会広報誌として年4回発行している。限られた紙面で、定例会や委員会等で審議した経過について、より住民に「読んでもらえる」「分かりやすい」紙面づくりが求められている。</p> <p>議会広聴広報常任委員会では、全国町村議会広報コンクールにて優秀な成績を収めた町村議会への視察のほか、雑誌編集等の専門家が講師を務めるクリニックにおいて指導を受け、より多くの住民に手に取って読んでもらえる広報誌づくりを目指している。現在、他自治体議会の取組み等を参考にしながら、委員と事務局の作業分担、紙面構成の見直し等の検討・実施を進めている。</p> <p>他自治体議会では、定例会の結果を報告するだけでなく、議員が住民を取材し、その声を掲載するなど、議会広報を通して議会と住民の距離を近づけるような工夫をしている事例がある。議会広聴広報常任委員会で検討し、できるところから取り入れていく必要がある。</p> <p>議会改革特別委員会にて議会報告会、意見交換会をはじめとする広聴活動を令和3年度より議会広報常任委員会で所管する事項に加える検討がされ、名称を議会広聴広報常任委員会に変更された。</p>
令和3年度の目標又は改善策	<p>「おおぐち議会だより」を通じて住民が議会に関心を持ってもらえるよう、「住民に読んでもらえる、分かりやすい紙面づくり」を目指し情報を発信する。</p> <p>引き続き、他自治体議会の視察や全国町村議会議長会等の研修を受講することで、議会の内容を分かりやすく伝える技術や編集技術を習得し、その成果を紙面づくりに生かす。</p> <p>広聴活動については、従来の議会報告会、意見交換会の反省等を踏まえ、より多くの住民が参加し、関心を持ってもらえるよう工夫する。</p>

## ■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第6章	持続可能な地域経営				
	基本政策	第3節	情報発信・共有				
成果指標	/						
H26実績値	R1実績値	R2計画値	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値

## ■3年間の目標

目標	読んでもらえる議会広報誌づくり、参加してもらえる議会報告会（意見交換会）を目指す					
項目（単位）	R1実績	R2計画	R3目標	R4目標	R5目標	

## ■2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R4年度	前年度の反省を活かした広聴広報活動に取り組む
R5年度	議員改選の年にあたるため、新しく議員になった方に広聴広報活動の基本を学んでもらう

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
5	228号発行（3月定例会）
7	229号発行（6月定例会）
10	230号発行（9月定例会）
1	231号発行（12月定例会）
2	広報クリニック及び先進地視察【コロナ禍のため中止】 ※視察は新型コロナウイルスの状況による

## ■事業コスト

		単位	R1 年度決算額	R2 年度当初予算額	R3 年度計画額
事業費		千円	3,120	2,025	1,825
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工	0.5	0.5	0.5
	会計年度 任用職員	人工	0	0	0
	計	人工	0.5	0.5	0.5

## ■令和3年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

## ■令和3年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

## ■目標又は改善策に対する取組内容

読んでもらえる議会だよりづくりについては、議会広聴広報常任委員会委員と一緒に愛知県町村議長  
会主催の議会広報クリニックを受講し、議会の内容を分かりやすく伝える技術や編集技術を学び、紙面  
づくりに生かしている。

広聴活動は、議会だよりの紙面に「まちかどインタビュー」というコーナーを新設し、住民の声を聞  
く機会を新たに設けた。

しかし、その一方で新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、意見交換会・議会報告会を開催でき  
なかったほか、町主催のふれあいまつりも中止となったため、主だった活動は出来ずじまいである。



## ■評価

議会だよりについては、愛知県町村議長会主催の議会広報クリニックの講師から指摘された点の改善や、評価された点を生かす紙面づくりに努めてきた。それによって、少しずつでも読者が増えていると考えたい。これを励みとし、今後も作成に奮起していく。

広聴活動については、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり意見交換会・議会報告会を開催できなかったが、議会だよりに住民の声を聞くコーナーを設けたことは、今後の紙面の充実につながると思う。

## ■特記事項